

**核物質防護に関する不適合情報**

2023年10月10日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niiigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	棧橋の補修作業時に、誤ってケーブルを切断してしまったことで、侵入検知器が動作し続けることを確認した。 調査の結果、棧橋の補修を担当した当社社員は使用中のケーブルがあることを把握していなかった。図面や現場の確認を行っていたが、過去の工事が図面に反映されておらず、周辺設備の詳細確認も怠ったことで、当該ケーブルが使用中と気付けなかったことが原因であったもの。 切断してしまったケーブルを修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/2/21	
2	監視カメラの映像が、草木により確認しにくい場合があることを確認した。 監視機能は維持。 対策として、周辺の草木を伐採し、防草シートを施工した。	2023/7/14	

4. 公表区分その他 6件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの映像が、映らないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、バックアップ用のカメラであったことから、代替措置は不要と判断した。	2022/8/4	
2	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/1/12	
3	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を調整し機器を追加することで、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/7/16	
4	原子力規制庁による核物質防護設備の現場確認に向けた準備の中で事前に提出した設備図書と現場が異なっていることを確認した。設備図書を更新し、再度資料を提出した。	2023/7/28	
5	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/9/23	
6	ネットワーク構成図の情報が最新ではない旨の指摘を核物質防護検査にて受けたため、ネットワーク構成図を更新の上、更新する際のルールを策定した。	2023/2/22	